

【島のくらしの情報】

NPOいえしま、いえしまコンシェルジュ(家島)

<p>① 仕事(収入)の状況</p>	<p>家島の基幹産業は漁業と採石業です。 漁業では高齢化が、採石業では国内需要の減少が大きな問題となっています。 最近では、観光業従事者の割合が増えつつあります。 また、病院や高齢者福祉施設で働く看護師・介護職員等も求められています。</p>
<p>② 住居の状況 (貸家、空き家など)</p>	<p>県営住宅、市営住宅あわせて計20戸ほど空きがあります。 また、売物件となっている住戸も多くありますが、一元的に管理する体制はないために、個人間の交渉となります。</p>
<p>③ 医療環境の状況</p>	<p>島内には内科を中心とした総合病院が2つ、歯科医院が2つあります。 急患については、救急車での島内医療機関への搬送。 重篤な患者については、救急艇・ドクターヘリにより姫路の総合病院へ搬送が行われています。</p>
<p>④ 福祉環境の状況</p>	<p>特別養護老人ホームがあり、通所介護(デイサービス)や短期入所介護(ショートステイ)などを実施しています。</p>
<p>⑤ 教育環境の状況</p>	<p>保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校が1校ずつあります。 生徒数は、小学校は100名程度、中学校は100名程度、高校は100名程度となっており、姫路市域に通う高校生や下宿や寮に入る生徒も多くいます。</p>
<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<p>島内は上下水道が整備されており、普及率はほぼ100%となっております。 ガスはプロパンガス、電気は関西電力より供給されています。</p>
<p>⑦ 本土との交通手段 (費用、時間、便数など)</p>	<p>【航路】姫路港から真浦港または、宮港(高速船で約30分) 高速いえしま/高福ライナー の2社が運行しており、あわせて1日16便。大人1000円。 【姫路港までのアクセス】 公共交通機関:JR・山陽電車で姫路駅=バス(約30分)=姫路港 自家用車の場合:姫路バイパス中地ICを降りて約10分。</p>

<p>⑧ 島内の交通手段 (費用、便数など)</p>	<p>【島内交通】 島内の主な移動手段はバイクです。レンタサイクリング、レンタルバイクもあり(500円～2000円程度)。小さい島のため、徒歩での移動も可能。(島内港間:約40分) また島内コミュニティバス(1回100円)が、島内の主要な地点を周回している。</p>
<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物について】 島内には個人商店(4つほど)や魚屋が数店あり、日用品をはじめ、新鮮な魚介類を簡単に手に入れることができます。姫路とも近いため、気軽に買い物に行く人も多いです。 * 農地はないため、野菜は都会の値段よりも少し高い傾向にありますが、家庭菜園が多く行われているため、ご近所さんからお裾分けを頂くこともあります。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>施策として、定住促進をしているわけではありませんが、島内の家を買われて住んでいる方はいます。ご夫婦どちらかの実家が家島にあり、ご家族で移住される方が多いようです。 また、今年度より地域おこし協力隊が移住しています。</p>
<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>いえしまコンシェルジュがガイドにおいてご案内します。</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>いえしまコンシェルジュが支援いたします。</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報</p>	<p>島暮らしの中では、地域清掃や墓掃除など体力を使うものや、婦人会・育成会など地域コミュニティへ参加するなどの地域に積極的に溶け込む努力が必要となります。</p>